

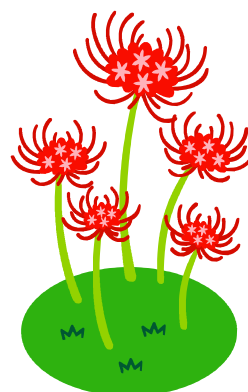
おおつき

9月 秋の始まり

今年の夏は猛暑が続きましたが、お盆を過ぎて、朝夕しのぎやすくなり、秋の気配が感じられるようになってきました。「暑さ寒さも彼岸まで」と言われます。2学期が始まって少しの間、暑い日は続くと思いますが、体調管理に気をつけて過ごしていきたいと思います。

登校日には、都合で欠席の子もいましたが、みな元気な顔を見せてくれました。夏休みの後半も元気に過ごし、少したくましくなったことと思います。1学期は、新しい学年で新たな気持ちでがんばろうということでしたが、2学期は誰にでもある「苦手」をなくすように、努力をしてほしいと思います。「苦手意識」や「食わず嫌い」という言葉がありますが、「できない」のではなく、「できそうもないと思っている」「何となく面倒だ」ということもあると思います。そういったものに「ちょっとやってみようかな」という気持ちになれるとよいと思いますので、2学期の始まるこの時期に、子どもたちに意識をしてもらいたいと考えています。

夏休み中、子どもたちは、事故もなく元気に過ごすことができました。ご家庭、地域の皆様のご協力に感謝申し上げます。また、2学期もよろしく願いいたします。

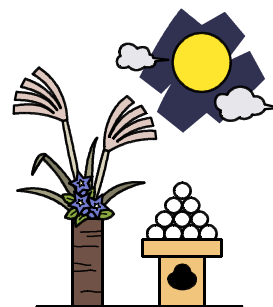


中秋の名月

お月見は旧暦の8月15日に月を鑑賞する行事で、今年は9月27日に当たります。この日の月は「中秋の名月」、「十五夜」、「芋名月」と呼ばれます。月見の日には、おだんごやお餅(中国では月餅)、ススキ、サトイモなどをお供えして月を眺めます。

お月見は中国から伝わったもので、中国各地では月見の日にサトイモを食べることから、もともとはサトイモの収穫祭であったとも言われています。日本に伝わったのは奈良～平安時代頃(あまかし)のようです。私事ですが、遙か昔に、奈良の甘櫛の丘で雅楽の生演奏をBGMに竹製の酒器でお酒を酌み交わしながら月見をするという、古代の雅な体験をしたことを思い出しました。

また、日本では旧暦8月15日だけでなく9月13日(今年は10月25日)にも月見をする風習があり、こちらは「十三夜」、「後の月」、「栗名月」とも呼ばれています。各地には「十五夜をしたなら、必ず十三夜もしなければいけない」という伝えがあり、片方だけの月見を嫌う風習があったようです。十三夜の風習は中国にはなく、日本独自のものです、秋の収穫祭の一つと考えられています。



PTA奉仕活動

8月30日(日)に、PTA奉仕活動が行われました。保護者の皆様には、早朝よりお世話になりました。手が足らずに普段できないところや、大人でないと手が届かないところの清掃をすることができ、たいへん助かっております。毎年のことですが、保護者の皆様の熱心に作業する姿を見て、子どもたちは大切なものを学んでいると感じました。お陰をもちまして、2学期を気持ちよく迎えることができます。ありがとうございました。

移動博物館

9月29日(火)から10月2日(金)まで、本校体育館において、栃木県立博物館の移動博物館が開催されます。歴史に関するものや鉱物や昆虫など理科に関するものが展示され、体育館が特設の博物館となります。子どもたちは、説明をしてもらうほかに、よろい 鎧やじゅうにひとえ 十二単を着用する体験もさせてもらう予定です。貴重な体験ができると思います。保護者、地域の皆様の観覧もできますので、詳細は学校からの通知をご覧ください。



お知らせとお願い

7月末に本校と近隣の小中学校の技能員さんのお世話になり、駐車場にラインを引きました。枠がはっきりしましたので、お子さんの送迎など来校の際に駐車がしやすくなり、台数も多く駐車できるようになったことと思います。なお、駐車場内では事故のないように徐行運転や発進の際の安全確認等をよろしくお願いいたします。

また、お子さんのお迎えで南門周辺に駐車されると、下校の子どもたちと一緒にたたり、他の車の通行の妨げになるなど安全面で支障をきたすこととなりますので、お迎えの際は北門から入り、駐車場でお子さんをお待ちいただくように、重ねてお願いいたします。

9月の主な予定

- 1日(火) 始業式
- 2日(水) PTA登校指導、発育測定
- 3日(木) 朝会
- 10日(木) 児童集会
PTA本部役員会議、実行委員会
- 12日(土) 土曜“夢”クラブ
- 17日(木) 音楽集会
- 19日(土) 土曜“夢”クラブ
- 21日(月) 敬老の日
- 22日(火) 国民の祝日
- 23日(水) 秋分の日
- 24日(木) 表彰朝会
- 27日(日) PTAレク大会
- 29日(火) 移動博物館(～10/2)

今月の論語

子曰わく

先ず其の言を行ひ
而る後之に従う

(通釈)

孔子が言った。あることについて、あれこれ言う前に先ず行うこと。行った後に、言うことがあれば言う。それが大切である。